

平成30年度 授業改善推進プラン 学年メモ

2年

	児童の実態	学習指導の課題	具体的な授業改善策	補充・発展的な学習指導の計画	具体目標	3月 成果と課題
国語	<p>○「言語事項」・漢字の学習には、すすんで練習に取り組んでいるが、文字を正確に書くことができない児童が多い。また、語彙力が乏しく、文章を書くことが苦手な児童が多い。</p> <p>○「聞くこと」については、相手の意図をつかみながら聞く力は不十分である。</p>	<p>○年間学習指導計画の中に、毎時間、言語に関わる指導を計画的に設定する必要がある。また、語彙を増やすための時間を確保する必要がある。</p> <p>○相手の話を最後まで聞き、伝えたいことを聞き取る指導が不十分である。</p>	<p>○読書の時間を確保し、様々な言葉に親しみ理解できる語彙を増やさせ、言葉集めや短文作りの時間を確保し語彙を豊かにさせる。</p> <p>○はね、とめ、はらいなどを意識させ、字形を整えて書く練習をさせる。漢字やカタカナの学習では、毎日の学習の中で、家庭と連携を取りながら、繰り返し練習をさせ、確実に身に付くようにする。</p>	<p>○表現の仕方、順序を意識した文章の書き方を指導するとともに、視写、作文、日記などを取り入れる。</p> <p>○繰り返し習熟テストを行い、細かな形まで意識させて取り組めるようにする。漢字テストは、百点を合格点として、再テストを繰り返し、確実に書けるようにさせる。</p>	<p>○児童の90%が自分の考えを整理して、順序よく文章を書くことができる。</p> <p>○児童の90%が文字を細かい所まで気を付けて書くことができる。</p>	
算数	<p>○「数と計算」では、加法及び減法の繰り返し上がり、繰り返し下がりについては、ほとんどの児童が理解しているが、計算が確実な児童は少ない。</p> <p>○「数量関係」では、式に表したり式を読み取ったりすることが難しい児童が多い。</p>	<p>○年間指導計画の中に、毎時間、百マス計算の時間を設定する必要がある。また、具体物や図などを用いて考え、式に表す時間を確保する時間を設定する必要がある。</p>	<p>○指導單元に関わらず、計算問題を解く時間を授業のはじめに設定する。</p> <p>○文章題では、ポイントに下線を引いたり問題の場面を絵や図に表したりして解くようにさせる。</p>	<p>○宿題や補充プリントで習熟させ、理解の定着を図る。</p> <p>○半具体物を用いた操作活動の時間を多く取り入れ理解を深めさせる。</p> <p>○文章問題作りを取り入れ理解の習熟を図る。</p>	<p>○児童の90%が加法、減法の計算を正確に計算することができる。</p> <p>○児童の90%が文意を正確に捉え、演算を決定することができる。</p>	
生活	<p>○「動植物の飼育・栽培」では、動植物に親しみをもち、世話に関心をもつ児童が多いが、実際に自然に触れる経験が少ない。また、動植物の世話ができる児童が少ない。</p>	<p>○年間指導計画の中に、動植物の飼育や栽培に関わる活動時間を増やす必要がある。</p>	<p>○虫探しや生き物のお世話、野菜を育てることを通して、<u>自然に親しませ、育てている生き物や植物に合った世話の仕方があることに気付かせる。</u></p>	<p>○体験活動を充実させるとともに、様々な活動を通して得た気付きを基に話し合ったり考えたりする時間を設定する。</p>	<p>○全員が生き物に関心をもち、すすんでそれらに関わろうとすることができる。</p>	
体育	<p>○「体づくりの運動」では、体のバランスをとったり移動したりすることが苦手な児童が多い。また、ボールの扱いが十分でない児童が多い。</p>	<p>○年間指導計画の中に、ボールを使った運動を多く設定する必要がある。</p>	<p>○年間指導計画の中で、<u>ボール投げゲームに取り組めるように計画する。ゲームの内容も、的あてやゴールにシュートするなど様々なゲームを設定する。</u></p>	<p>○校庭のドッジボールコートでは、授業だけでなく休み時間も活用させ、ボールを投げたり取ったりする活動時間が増えるような環境を設定する。</p>	<p>○児童の90%がボールを使った活動が好きになるようにする。</p>	